

令和 8 年 1 月 29 日

一般社団法人 全国専門学校教育研究会
会員各位

全国専門学校教育研究会
教育研究・質向上委員会
委員長 木村 隆浩
副委員長 片岡 優介
委 員 泉田 優
委 員 後藤 清彦

令和 7 年度アダプティブ・ラーニング教授法を習得するための研修 開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

文部科学省事業の一環として開発したアダプティブ・ラーニング教授法を習得するための研修の開催をお知らせします。

アダプティブ・ラーニング教授法とは『デジタルコンテンツ*と ICT ツールを活用したコミュニケーション面での学習支援を通じて、主に下位層の学生一人ひとりの成績改善を促す教授法』を指します。今回の研修では、この教授法の習得を目指します。

*デジタルコンテンツ：パワーポイント資料、PDF 資料、デジタル教科書、静止画教材、動画教材などデジタル化された教育コンテンツを指します。

本研修は受講申し込み時にアダプティブ・ラーニングや ICT ツールの専門知識を必要とせず、どなたでも参加できる内容です。受講修了者は、自身の学校・コミュニティ等で本研修プログラムの普及促進を求めたい。自らが発起人として、教職員同士で知見を共有できる学びの場を作って頂くことを願っています。つきましては、業務ご多忙とは存じますが、本研修にご参加いただきたくお願い申し上げます。

敬具

アダプティブ・ラーニング教授法を習得するための研修 実施要項

- ◆目 標：1. アダプティブ・ラーニングが従来の教育の考え方や方法と比較して異なっていること、高い成果をあげていることを理解すること。
2. 対象の学生に合わせた能力開発、興味開発に資する授業設計スキルを身につけること。
3. 教えることだけではなく、適切な問い・声掛けを投げかけることで学生の学びを深める、促進させることができるスキルを身につけること。
4. ICT を授業に組み込んで有効な授業方法に考えて、実践できること。
5. 基礎的な ICT リテラシーを身につけること。
6. 研修内容を現場で実践してみて、上手くいったこと・いかなかったことを経験し、次の課題を見つけること。

◆開催日程：Day1:令和8年 3月30日(月) 13:30-16:30

Day2:令和8年 3月31日(火) 9:30-12:30

*動画教材の事前学習、事後学習、課題提出が必要です

◆会 場：デジタルハリウッド大学駿河台キャンパス

東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ アカデミア

受付 3F

◆受講対象：授業デザインにデジタルコンテンツを導入し、ICT ツールを活用して、個別最適な学習支援を行いたい教員

- ◆受講要件：1. Office 製品を使ったことがあること。
2. パソコンやスマートフォンで文字入力など簡単な作業が分かっている。
3. Google サービス (Gmail、Gemini、YouTube、Classroom、Forms、Spreadsheet 等) を使ったことがあること。
4. 生成 AI を使ったことがあること (Gemini、ChatGPT、Copilot 等)

◆定 員： 18 名 (9 名以上の申込みで開講)

◆受講料： 一般社団法人全国専門学校教育研究会 会員 18,700 円 (税込み) / 1 人
会員校外 27,500 円 (税込み) / 1 人

※お申し込みは先着順とし、定員になりしだい締め切らせていただきます。

◆参加申込締切日： 3月6日(金)

◆講師紹介：

中田 明子 氏（株式会社リソースフル 代表取締役）

静岡県生まれ。筑波大学卒業後、地方鉄道最大手の遠州鉄道株式会社にて営業、管理部門、新規事業立ち上げ等の経験を経て独立。組織の問題を生み出す人の心理や行動パターンをゲーム・演習を中心とした「体験」によって腹落ちさせる研修は「目から鱗」「世界の見え方が変わった」等の声多数。人や組織のリソースが100%発揮できる「リソースフルな組織」創りに取り組んでいる。

石川大樹 氏（デジタルハリウッド株式会社 まなびメディア事業部 まなびメディアグループチーフ 教材開発責任者、インストラクショナルデザイナー、デジタルハリウッド大学 准教授）

大学卒業後、大手キー局にて番組制作を担当。2004年デジタルハリウッド入社以来、数多くの新規事業に携わる。その経験を活かし、現在はeラーニング（動画）教材や教育メディアを開発。また、デジタルハリウッド大学大学院の教員の立場から、動画教材の教育効果と若年層へのプログラミング・デジタルデザイン教育手法を研究している。

[研修実績]

一般社団法人全国専門学校教育研究会 「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」に係る教職員研修プログラム講師（2018、2019年度）

一般社団法人全国専門学校教育研究会 「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」に係るアダプティブラーニング実態調査（2020年度）

一般社団法人全国専門学校教育研究会 「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」アダプティブラーニング教授法研修プログラム開発（2021、2022年度）

[高等教育機関]

戸板女子短期大学 FD研修（2020年度）

倉敷芸術科学大学 FD研修（2021年度）

山口県立大学 FD研修（2021年度）

室蘭工業大学 FD研修（2021年度）

室蘭工業大学 FD研修（2021年度）

東洋大学 FD研修（2021年度）

学校法人麻生塾 FD研修（2022、2023年度）

FSG カレッジリーグ FD研修（2024年度）

NSG ホールディングス コンテンツ制作と知財管理の研修（2025年度）

ほか、高等教育機関向けFD研修実績多数

- ◆事前準備：1. インターネットに接続できる端末（PC、タブレット、スマートフォン）※事前課題のeラーニング教材を視聴するために必要です。
2. Office（PowerPoint）が入ったPC
3. Gmail アカウントの取得（gmail.comのフリーメールアドレスが必要）
※未取得者のみ
4. 生成AIツール（無料版可、ツール不問（Gemini、ChatGPT、Copilot））

◆事前課題：以下の２点をお願いしています。

- ・事前課題（１）：eラーニング学習（約 1.5 時間の動画教材）
- ・事前課題（２）：（下位層の成績改善のために）学生の「①どのような指標」を「②どういう方法（ICT を使うこと必須）」で取得するのか、等をレポートにまとめる。

事前課題（２）に関しては e ラーニング学習をしながら取り組んで頂きます。

研修当日（3/30, 31）は、事前課題を実施されていることを前提に進行します。

- ◆持ち物：1. Office (PowerPoint) が入ったノート PC、及び充電器
2. 事前課題レポート（回答済のデータ）
3. 生成 AI ツール（無料版可、ツール不問（Gemini、ChatGPT、Copilot））

◆内容カリキュラム

	時 間	内 容
1 日目	13:30～14:00	研修説明、自己紹介、チェックイン ログ（データ）利活用の重要性理解 オープンニングディスカッション
	14:00～15:30	事前課題（レポート）の個別発表
	15:30～16:30	勇気づけコミュニケーションに必要な考え方学生を勇気付ける、主体的な学習行動に繋げるコミュニケーション（FB）理論
2 日目	9:30～11:00	リアルなお悩み事例を使ったケーススタディ
	11:00～12:30	事前課題レポートのブラッシュアップ
	12:00～12:30	種明かし 事後課題説明、事後アンケート チェックアウト

※ 研修内容は、一部変更になる場合がありますので、ご了承ください。

◆事後課題：以下の２点をお願いしています。

- ・事後課題（１）：（下位層の成績改善のために）学生の「①どのような指標」を「②どういう方法（IT を使うこと MUST）」で取得するのか、等をレポートにまとめる。
- ・事後課題（２）：研修講師が指定する期間、自身が担当する特定科目にて事前課題レポートをブラッシュアップした内容を実践してみる。

ICT 活用 アダプティブラーニングの活用方法セミナー 参加申込書

法人名 _____

学校名 _____

記入者名 _____

E-Mail _____ T E L _____

研修参加者

フリガナ 参加者氏名	部署・役職	E-Mail

- *定員になりしだいお申し込みを締め切らせていただきます。お早めのお申し込みをお願い申し上げます。
- *お申込みにより得られた個人情報及び回答内容については、適正に取り扱い、当研修の準備・実施に関するご連絡以外に使用することはありません。

【参加申込書ご送付先】

お申し込みは、下記アドレス宛へのメールのみとさせていただきます。

E-Mail kgoto@ycb.ac.jp

申込みを受け付けた場合は受付・確認のメールを送付させていただきます。

返信のメールを確認後、3月13日までに受講料を下記口座にお振込みください。

【振込先】

清水銀行 三島支店 普通口座

口座番号：2177699 (店番号：103)

シヤ) ゼンコクセンモンガツコウキョウイクケンキュウカイ

口座名義：一般社団法人全国専門学校教育研究会

領収書はメール PDF にて送付いたします。

【お問い合わせ】

学校法人山本学園：専門学校山形 V. カレッジ 後藤 清彦

電話番号：023-644-1122 メールアドレス：kgoto@ycb.ac.jp